



～庄原市政の動きをめぐって～

3月25日(水)令和8年度の人事異動が公表されました。市長部局を4部から6部制に再編。

先には、新年度予算も決定され、4月からは、事実上の新体制が始まります。市長は、「将来像の実現に

向けて、3つの柱(長期総合計画)に沿った施策体系を基本として、リーディングプロジェクト(ピースフル)を新たに位置づけて、分野横断的に取り組む」としていますが、そのピースフルの今後の具体を見つめていかなければと考えます。(ピースとは直訳すれば、この場合安心かな、フルは、満ちることですから、充実した暮らしですかね。それを先導するんですから、意識すれば「安心と豊かさを実感できる暮らしを創出する政策」となるのかなあとも…)

ピースフル(リーディングプロジェクト)は、次の5つの柱からなる施策です。

- 1.庄原ブランディングの推進 ～庄原の魅力発信し、市民の誇りと愛着を形成～
- 2.食料とエネルギー自給の推進 ～生き抜く力と豊かさを実現するしくみづくり～
- 3.観光の基盤産業化の推進 ～観光消費額を増加させる戦略づくり～
- 4.庄原版コンパクト+ネットワークの推進 ～人口が減少しても持続可能な「まち」となる構造転換を推進～
- 5.地域の将来を見据え、子どもの進路実現をかなえる人材の育成の推進～教育環境の充実やキャリア教育などの実施でふるさとへの愛着を形成～

なお、人口減少は避けられず、目標設定も行わず、ピースフルに取り組み、他の自治体にはない魅力を作り上げることを通して、総和として人口減少対策とする、という考え方が示されています。



西城自治振興区 区長 田村富夫



旧西城保育所園庭公園化事業



ベンチで(左から)田村区長、林さん、城田さん

4月初旬に旧西城保育所園庭の桜の木の下にベンチを2台設置しました。公園化事業の一環として西城自治振興区で購入したベンチです。春から初夏に向かう爽やかな季節になります。花壇に花の種を蒔きます。5月末には草刈りを行います。少しずつではありますが、憩いの場になるよう取り組みます。みなさまのご協力をお願いします。



第7弾

田村区長と恵木さん

絵手紙 一橋 富貴さん

平成14・15年くらいから始まったしあわせ館の行事「絵手紙サークル」の初期から参加をされていたそうです。手書きの温かさが伝わる作品(季節の花など)の一部を4月24日(金)まで展示しています。是非みなきてください。



やさしいパソコン教室

参加者募集!

5月8日(金)13:30～

都合により変更になることがあります。

講師:宮原賢治さん



健康マージャン

昼の部 5月13日(水)13:30～

夜の部 5月27日(水)17:00～

独自ルールで行うマージャンで未経験者や初心者の方でも大歓迎です!予約・参加費不要です。



人事異動のお知らせ 3月31日付で地域マネージャーの清水慎之助さんが退職されました。三年間ありがとうございました。今後は「西城自治振興区・地域振興部員」としてドローンサッカーで西城の元気をつくる取り組みをされます。これからはお世話になります。



西城自治振興区だより 2026.4.20 (月) Vol.166

西城まちづくり便

☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
e-mail:saijyo.jichi@gmail.com

ヒバゴンのまち 自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします!

西城町観光協会とタイアップした情報サイトです
地域の情報などを発信します

*こちらからお入りください



今、求められている西城自治振興区、自治会・常会の役割とは...

～安心・安全で、元気なまちづくりは、個がつながり合うことから、そして、その結びつきを、地域社会への面への広がりへ～

4月、令和8年度が始まりました。必要とされる住民自治活動は、各自治会・各常会ごとに異なると考えており、地域伝統のイベントや地元として抱える地域課題も様々であり、そうした地域差を大前提としながら、西城自治振興区として、テーマを「安心・安全で、元気なまちづくり」において取り組んでいます。



名誉市民顕彰 亀井静香氏

(いまの「自治振興区」制度は、20年前の「平成の大合併」により、新しく設けられた住民自治の制度で、住民自治組織として、各支所や以前から存在していた伝統的な地域住民自治組織(自治会・常会)と協働して、それぞれのまちづくりを担うことになっていて、2004年の地方自治法の改正で法制化されたものです。)

3月21日(日)には、庄原市制20周年記念式典(於:庄原市民会館)が500人規模で実施されました。

西城自治振興区の地域づくりは、3つの部会(と、もう一つの生涯学習部会)は、「学びを通して地域づくりへ)」で構成されています。

その一つは、総務広報部の、安全へのとりくみです。

待ったなし!大規模災害への備えです。南海トラフ地震は、東日本大震災の10倍超!の被害想定。死者数1万9747人に対して、なんと32万3000人。自主防災組織、避難所運営などの防災活動を強める地域防災体制について「自治会ごとに地区防災計画をつくる」ことを掲げています。地域防災について行政は何を担い、自治会はどんな役割を果たせばよいのか、ということです。それらを明らかにしていって、しっかりと見つけ直していく活動で、安全をつくる取り組みです。1月6日には、島根で震度5超の地震があり、怖いと。また、3月11日には、東日本大震災15年、忘れられない...忘れてはいけない...震災の記録が報じられました。

2つ目は、環境福祉部の、安心へのとりくみです。

コロナで激変!した地域のつながりをとりもどすことです。大規模災害や地域の超高齢化。いざという時に頼れる人が誰もいないということのないように、身近な常会ごとのご近所に小地域サロンを、自治会ではデイホームを、こうした集まりの場を起点に、困ったときに助け合う住民主体の活動を創っていかうとしています。こうした地域包括ケアのとりくみは、超高齢社会の多数派であり、主役である高齢者が高齢者を支えるということだと考えています。これまでも、高齢者が動けば地域が変わると呼びかけているところです。

そして、3つ目は、地域振興部の、元気へのとりくみです。

最新のドローンです。空飛ぶクルマの実用化も夢ではなくなっています。3月27日、来年には商用運航をすることが報じられました。なによりも、災害時に山間部の孤立した被災地域に食料や医薬品などの救援物資を届けられるようになる。少しでも多くの人に実際に、飛ばしていただいて、その可能性を実感・体感してもらい、ドローンを楽しむ人が増え広がっていくことで、地域に元気をつくる取り組みです。

地域に根ざした自治会、常会ぐるみで、これらの3つの柱で、西城の地域づくり・自治をつくることをすすめています。自治とは、1人ひとりが自分の生活にかかわることに参画・協働していくことだと言います。認知症ケアの地域共生社会づくりにもつながっていく、私たちのできることだと考えています。

希望の光は一隅から・力は一人からと言いますが、それを地域みんなでやろう!としています。



新しく当選された議員さん方と西城町18自治会長による

3月7日(土) 西城自治振興センター

【開会あいさつ】合併時4万3千人だった人口が、3万を切ったとい

う市長メッセージが、発出される現時点に来ています。広報しようばら3月号で市長さんの3月議会での施政方針を読みました。率直によく勉強されていてご苦勞を感じました。果たして市民の学びがそこについて行っているのか?とも。昨年の選挙では市民の総意で、新しい市長さんと8名の新人議員さんの誕生をみましたが、合併以来の人口減少(社会減+自然減)、少子高齢化への不安感が反映されたとみえています。その時から、新生庄原市政にエールを贈る会をもちたいと考えてきて、本日ここに、市民の気持ちを代表しての場の一つが実現しえたと考えています。



意見交換会に参加していただいた(左から)青山議員、岡野議員、日野原西城支所長、徳永議員、堀井議員、松森議員



参加人数23人 ※ 資料:「概要版 第3期庄原市長長期総合計画(素案)」配布

そして、いま、第3期庄原市長長期総合計画ができ、向こう10年間のビジョンが示され、この絵柄を生きたかたちで実行していこうとすれば、作文をする以上のエネルギーがいます。これを、市長さんと議員さんたちが喧々諤々とやって、無い知恵を絞って我々のふるさとを守ってほしいと大いに期待しています。

とは言っても、できないことはできないんですが、難儀をしているところに光を当てて、その思いを市政へ擲り上げて行ってほしい! そうした相棒として意思、決意固めをする。昼食をはさんでの和気あいあいとした激励会を趣旨とした想定です。どうぞよろしくお祈りします。

西城町自治振興区連絡協議会 会長 田村富夫

西城自治振興区第4回役員会

3月26日(木)

- 1.次期役員体制について
 - ・欠員の副会長は補充しないで会長、副会長の2名体制を継続する。
- 2.総代会について
 - ・開催日時について 5月26日(火)19:00~実施
 - ・令和8年度自治会役員及び総代の報告について
- 3.就業規則、規約の変更について
 - ・庄原市自治振興区振興交付金交付要綱の一部改正に伴う職員賃金の改正。(令和7年11月1日から適用する) 就業規則の変更
 - ・会長・副会長を区長・副区長に改称(令和8年4月1日から摘要する) 規約、内規、就業規則の変更
- 4.各自治会長と関係機関(民生児童委員、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員、包括支援センター、社協)との交流会について
 - ・各自治会で日程を決めて実施する。
- 5.旧西城保育所園庭の公園化事業について
 - ・ベンチ(180cm)×2台 購入(環境福祉部予算から支出)
 - ・5月末頃、7月末頃、9月末頃に草取りを実施する。協力してほしい。
- 6.令和8年度自治会活動費の6月末頃までの送金予定について
- 7.その他
 - ・事務局から:町美展が開催出来なかった。西城町文化協会の会長が決まらない状態が続いている。西城自治振興センターでロビー展を開催している。これを町美展に繋げて行ければとも思っている。
 - ・役員から:何年も実施出来ない事は今後も出来ないと思う。やったことにするような中途半端な事をしないこと。



役員会の様子(総務広報部会は役員が兼ねる)

第3回総務広報部会

3月26日(木)

- 1.各自治会の自主防災計画進行状況について
 - ・「防災策定計画」の自治会ごとの進捗状況を共有し意見交換を行なう。
- 2.各自治会のイベント情報の提供について
 - ・事務局から:各自治会からイベント等の記事を提供いただきありがとうございます。今後お願いします。
- 3.その他
 - ・総務広報部長から:各地域の谷などの危険地域をドローンで撮影すればよいのではとの意見があった。



令和7年度最後の「西城暮らしと安心の会」の集合写真撮影前の一コマ

第89回 西城暮らしと安心の会

3月25日(水)

各自治会長と関係機関(民生児童委員、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員、包括支援センター、社協)との交流会開催について。目的は関係機関の顔つながり場とする。西城暮らしと安心の会や振興区の活動、関係機関の役割を知る事。相談窓口の周知を行う事。災害時の情報共有の場とする。など、参加者は共有しました。また、防災について、各自治会での取り組み状況などが話されました。

芸備線が好き! ③ 芸備線の今を知ってほしい!

西城で撮影中の広島大学写真部 岩木(いわき) 渉(わたる)さんに田村区長が散歩の途中にした声かけがきっかけです。芸備線ファンに会いました。

西城自治振興センターにお立ち寄りいただいた、広島大学写真部 萩元(はぎもと) 柊瑛(しゅうえい)さんと深松(ふかまつ) 佑一朗(ゆういちろう)さんにお話しを伺いました。



(左から)岩木さんと田村区長



岩木さんが撮影された西城の風景 ウイル西城や西城自治振興センターが見えます

駅の永橋さんに話しを聞いたり、芸備線を利用している三次高校の写真部にコラボ(共同作業)と一緒にやりませんかの声かけもしています。昨年の11月頃から撮り始め、四季の移り変わりも撮影したいと考えています。

萩元:9月1日から6日まで広島県立美術館の県民ギャラリーで写真展を企画しています。芸備線は広島県民全体が考えないと行けない問題だと思っています。写真展をするなら、西城や庄原ではなく、広島市の真ん中で県民に見える形でやろうと思って選んでいる最中です。広大写真部は40人ぐらいです。今回のプロジェクトに関わっているのは15人ぐらいです。芸備線の今を知ってほしいのが一番の目的です。このプロジェクトを始める前は自分達も何も知らなかった。芸備線がどんどこを走っていて、どのくらいの人に乗っているのか。四季折々、景色がいいところを走っていることなど。全然知らなかった。知るきっかけがないと思った。この写真展をきっかけにほしいと思いました。



西城の明神町踏切で撮影する広島大学生達



(左から)萩元さん、深松さんと田村会長

朝早く撮影していたとき、理容院の方が声をかけてくれて、店のなかでコーヒーをごちそうしてもらった。人が温かいと感じました。田村区長:西城フォトコンテストに応募してほしい。西城の魅力を発信してほしい。

萩元:芸備線の情報はニュースでしか知らなくて、人が減り廃線になるとマイナスのイメージしかなかった。来てみたら。芸備線にファンがついている。芸備線が暮らしの日常にあるのを実感しました。生活者の視点。三次高校との作業もそうなんですけど、暮らしの中の視点を考えてどう撮ろうかと試行錯誤している段階です。

「中野1区自治会懇親会」と「高齢者部会グラウンド・ゴルフ大会」開催

3月22日(日)

高齢者グラウンド・ゴルフ大会を亀嵩温泉玉峰山荘に企画していただきに行きました。グラウンド・ゴルフ大会の参加者は14名、懇親会22名、合計36名の参加をいただきました。

今年度はグラウンド・ゴルフを西城地域以外で行いたいとの意見もあり玉峰山荘と話し合い企画していただきました。グラウンド・ゴルフのコース内に体験したことのない大きな岩や木、川などもあり大変楽しく笑い声の多いゲームをさせていただきました。

ゲーム後は温泉にとっぷりとつかり、おいしい食事をいただき、お酒、カラオケも堪能し心も体もゆったりとくつろいだ一日となりました。

中野1区自治会 会長 森本清美 談



亀嵩温泉玉峰山荘